

## シンポジウム

# 「絶滅危惧種ニホンウナギと ともに拓く未来へ」

### 企画の趣旨

昨年10月に諫早市で開催された第1回森里海を結ぶフォーラム「絶滅危惧種円卓会議」において、多くの野生生物の絶滅の危機は、いのちの循環の基盤である森里海のつながりが崩れつつあることの反映との共通認識に至りました。それは私たち人間の未来を映す鏡のような存在であると言えます。

諫早市の真ん中を流れる本明川やその河口域におけるニホンウナギの本格的な調査を行い、再び本明川にニホンウナギを復活させる道について、小中高生・大学生や多様な市民が知恵を出し合い、可能な道を探る扉を開くシンポジウム「絶滅危惧種ニホンウナギとともに拓く未来へ」を、全国のその道の研究者や有明海周辺で活躍する高校生の協力を得て企画しました。

日時 2022年12月10日(土) 13時～17時

場所 鎮西学院大学西山ホール

### 【プログラム】

13時00分 開会、企画の趣旨説明

田中克(森里海を結ぶフォーラム代表)

13時10分 基調講演 「森里海をつなぎ直し、平和な社会を未来世代に」

畠山重篤(NPO法人森は海の恋人理事長)

14時30分～14時45分 休憩

14時45分 講演1 「ニホンウナギの生態、資源の動向と増殖の道」

望岡典隆(九州大学大学院農学研究院特任教授)

15時15分 講演2 「ニホンウナギの居場所を探す優れもの：環境DNA」

笠井亮秀(北海道大学大学院水産科学研究院教授)

15時45分 話題1 「柳川の掘割や飯江川にニホンウナギを復活させる」

福岡県立伝習館高校自然科学部

16時5分 話題2 「生き物たちと遊ぶ子どもたちを水辺に呼び戻す」

亀井裕介(やながわ有明海水族館高校三年館長)

(カメスケ絵図鑑から)

16時25分 意見交換

17時00分 閉会

参加費 無料

主催 森里海を結ぶフォーラム(代表 田中克京都大名誉教授)(連絡先 横林 080-5207-5400)

共催 大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所

後援 やながわ有明水族館

